

第3章：まちづくりの将来像・基本目標（概要版）

1 将来像・基本目標・将来イメージ

台東区基本構想で示す将来像・基本目標を都市計画マスタープランの将来像・基本目標として設定するとともに、これらからまちづくりの視点を抽出し、ひとの活動を意識したまちづくりの将来イメージを設定する。

■ 台東区まちづくりの将来像・基本目標

（台東区基本構想／H30.5.25 台東区議会企画総務委員会報告時点）

〈将来像〉

世界に輝く ひと まち たいとう

台東区に住む人、働く人、訪れる人、すべての人々は、安全安心で多様性が尊重された社会の中で、希望と活力にあふれ、いきいきと活躍しています。

長い間、積み重ねられてきた歴史や、まちに息づく多彩で粋な文化は、台東区を輝かせる光として、人々の誇りや憧れであり続けています。

台東区は、「ひと」も「まち」も輝くことで、世界中の人々を惹きつけ、ともに更なる活力と魅力を生み出す「世界に輝く ひと まち たいとう」の実現をめざします。

〈基本目標〉

- あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現
- いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまちの実現
- 活力にあふれ多彩な魅力が輝くまちの実現
- 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現

■ 台東区まちづくりの将来イメージ（案）

世界に輝く魅力があるまち

歴史や文化、まちの魅力が、人々を惹きつける

伝統とチャレンジが生み出す活力があふれるまち

江戸から続く多様性があるまち

水とみどりがまちに溶け込む快適なまち

いとなみを支える安全安心なまち

例えば・・・

上野、浅草をはじめ、特色ある諸機能の集積により、居住者、通勤・通学者、来街者等の増加と交流が活発化し、絶えず賑わい、新しい価値が生まれている

様々な生活様式やワークスタイル、価値観が展開され、歴史・文化の良さと時代に対応した新たなコミュニティが併存する

上野公園、不忍池、隅田川などの貴重な自然環境と、身近な水・みどりが都市活動と融合したうるおいにあふれている

地域性を反映した防災まちづくりが進み、「自助」「共助」「公助」一体による、まちの魅力を支える安全性が高まっている

■ まちづくりの視点に関連した台東区まちづくりの将来イメージ（案）

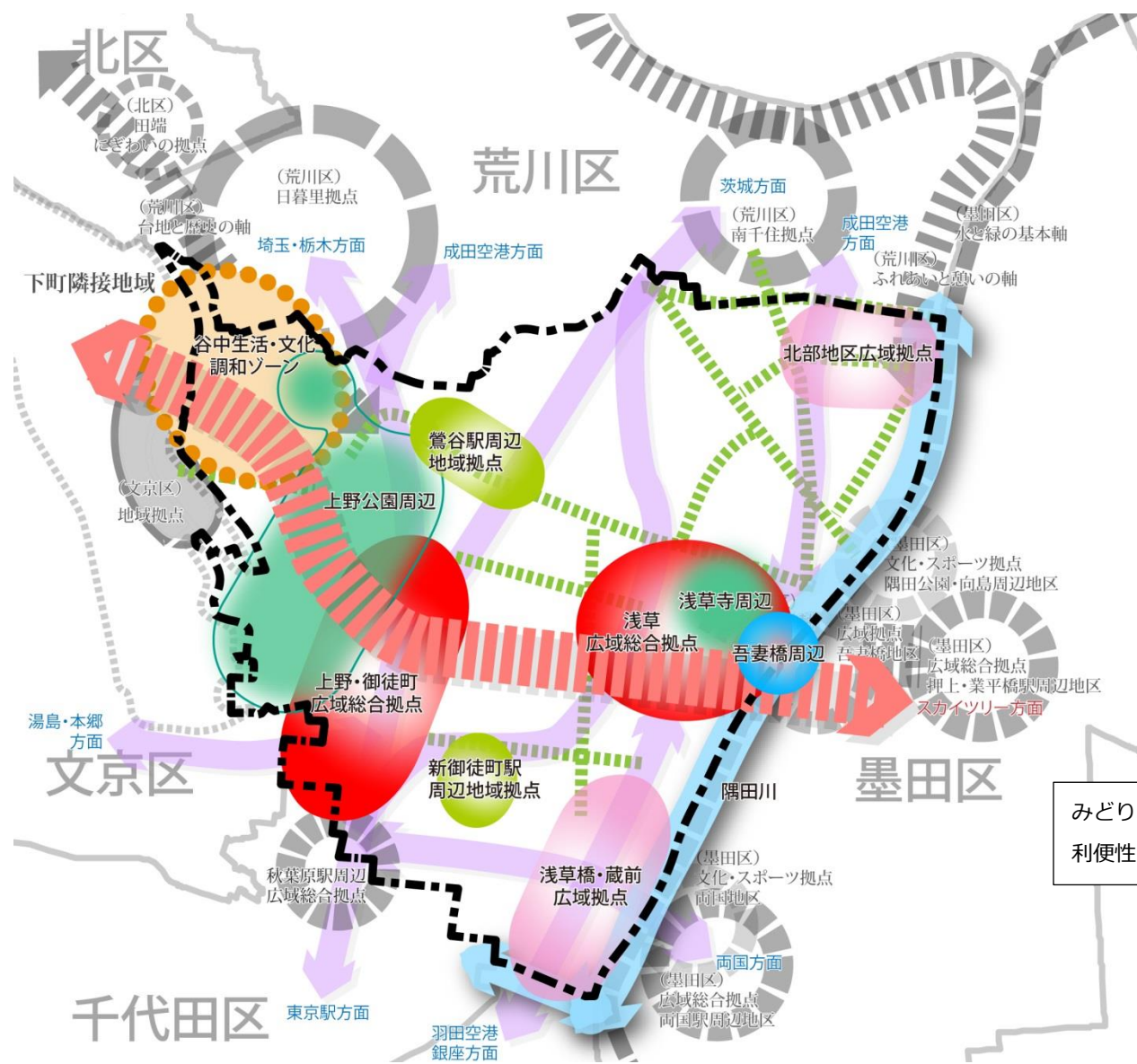
台東区まちづくりの将来イメージ

|                      |  |
|----------------------|--|
| 世界に輝く魅力があるまち         | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 台東区の特徴である歴史や文化、多彩なまちの魅力が活かされ、居住者、通勤・通学者、来街者、観光客等を惹きつけている。</li> <li>▶ こころの豊かさへの志向に対応し、生涯学習、スポーツなど台東区まちの資源を活用した様々な活動の場や舞台が用意されている。</li> <li>▶ コンパクトな都市構造と交通利便性を強みに、複合的な土地利用を活かした、「歩いて暮らせるまち」が形成されている。</li> </ul>  |
| 伝統とチャレンジが生み出す活力があるまち | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 上野、浅草をはじめとする区内の拠点において、特徴と活力のある諸機能の集積により、居住者、通勤・通学者、来街者等の増加と交流が活発化し、賑わいが絶えないまちとなっている。</li> <li>▶ 若い人や起業家の新たな試みにチャレンジできる環境が既存の産業資源や人材を活かしたまちづくりによって実現され、都市の活力が維持、創出されている。</li> <li>▶ 地域のニーズに応じた機能が適切に配置されるとともに、誰もが移動可能な環境が整備され、行きたい場所があるまち、行きたい場所に行けるまちが形成されている。</li> </ul> |
| 江戸から続く多様性があるまち       | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 多様な地域の個性と融合して、職住近接など様々な生活様式やワークスタイル、価値観が展開されている。</li> <li>▶ 歴史・文化の良さを活かしつつ、時代に対応した新たなコミュニティも生まれ、子供、若者から高齢者まで多様な世代が交流し生活している。</li> <li>▶ 国際観光都市として外国人にもやさしいまちづくりが進められるとともに、居住環境と観光の共存が図られている。</li> </ul>   |
| 水とみどりがまちに溶け込む快適なまち   | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 上野公園、不忍池、隅田川などの貴重な自然環境や身近な水・みどりが生活と一体となって活用され、うるおいのあるまちづくりが進んでいる。</li> <li>▶ 台東区ならではのまちの成り立ちを継承し、歴史・文化資源や祭りなどの賑わい、地形、水・みどりがまちづくりに取り込まれた景観が形成されている。</li> <li>▶ 地球環境、資源循環に配慮し、低炭素なまちづくりを推進し、ヒートアイランド現象の抑制、環境との共生が進められている。</li> </ul>  |
| ひとを支える安全安心なまち        | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 大地震や集中豪雨等の様々な自然災害に強い都市整備やまちづくりと一体的な対策が進み、ハード、ソフト共にまちの安全性が高まっている。</li> <li>▶ 地域性を反映した防災まちづくりが進み、「自助」「共助」「公助」が一体となって安全に暮らし、滞在できるまちが形成されている。</li> <li>▶ 利用実態にあわせた上手な道路の活用により、歩行者空間が整備・確保されるとともに、歩行者にとって安全な道路が形成され、歩きやすいまちとなっている。</li> </ul>                                  |

# 将来都市像及び将来都市構造図を補足する将来地域像の検討

## ■将来都市構造（拠点と軸）

目指すべき都市像のうち、主に骨格を示す図面



**【拠点】**

- 広域総合拠点
- 広域拠点
- 地域拠点
- 生活・文化調和ゾーン

**【軸】**

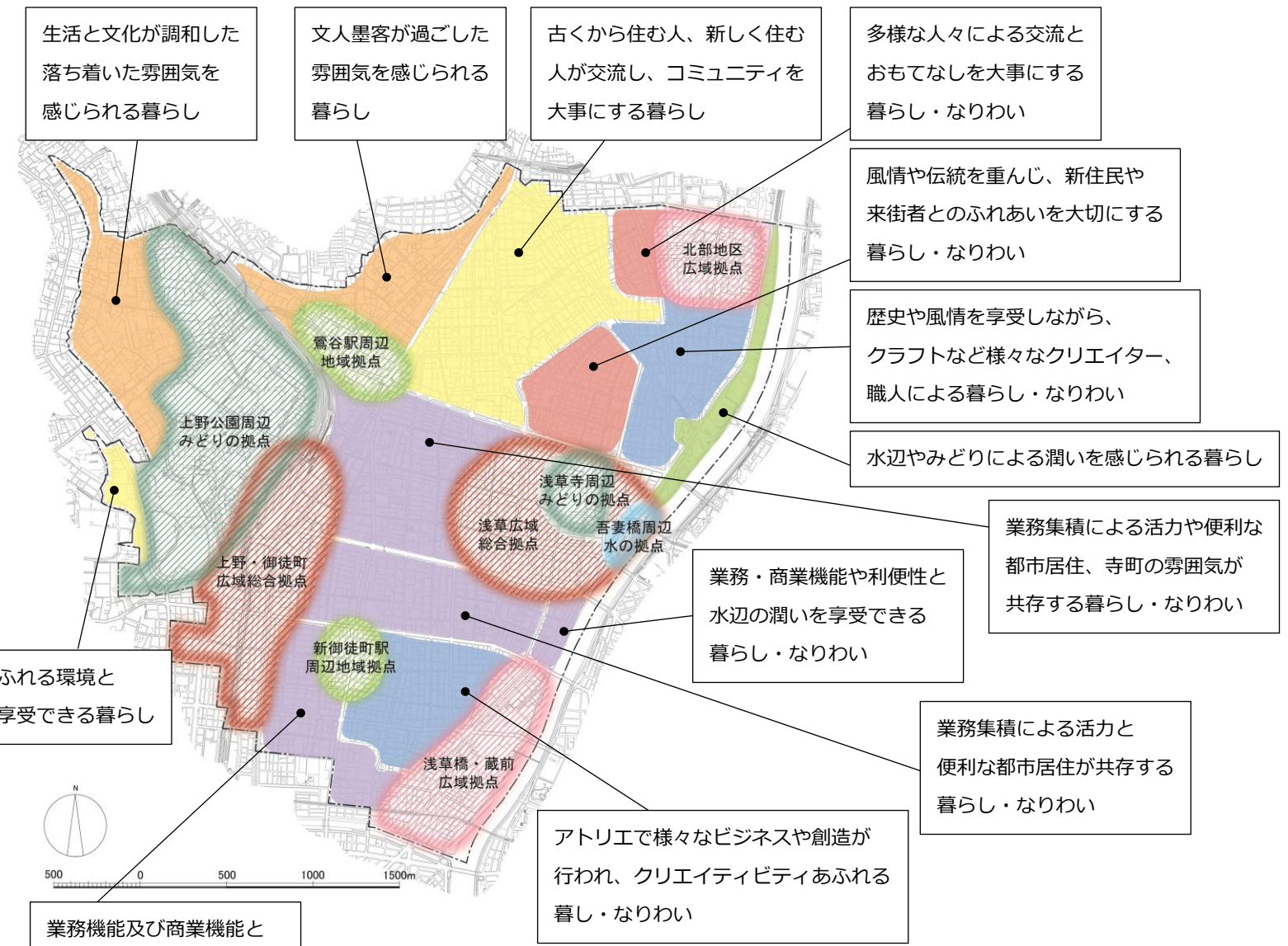
- 文化・観光連携軸
- 広域連携軸
- 拠点連携軸

**【水とみどり】**

- みどりの拠点
- 水の拠点
- 水とみどりの連携軸

## ■将来地域像（面）

目指すべき都市像のうち、地域の特徴を根拠としたエリア特有の代表的な暮らしとなりわいを例示する図面（建物用途の誘導以外に、使われ方・人の活動を含むエリアのビジョン共有を目的とする）



みどりあふれる環境と利便性を享受できる暮らし

業務機能及び商業機能と利便性を重視した職と住が近接した暮らし・なりわい

※拠点の将来像については、  
拠点の定義本文にて説明予定

エリア毎の暮らしとなりわいの類型

|                          |        |
|--------------------------|--------|
| 文化を感じながら暮らし・楽しめる         | 広域総合拠点 |
| みどりや水辺を感じる暮らし            | 広域拠点   |
| 地域に寄り添う商業や産業と生活が併存       | 地域拠点   |
| ものづくりの集積により暮らしと働きが融合     | みどりの拠点 |
| コミュニティを大事にした暮らし          | 水の拠点   |
| 多様な機能集積と利便性を重視した高密度な都市居住 |        |